

TOKYO FMとニッポン放送が史上初のコラボレーション! “ビジネスパーソンを応援する”コラボ特番を放送!

FMラジオ局であるTOKYO FMとAMラジオ局であるニッポン放送が、AM・FMの壁を越えて、“ビジネスパーソンを応援し、日本の元気に繋げていこう”を目的に、史上初のコラボレーション特番を3月13日(日)、2局同時に放送することが決まりました。

新年度・新生活が始まる3月に、TOKYO FMとニッポン放送が、若手・ベテラン問わず、すべてのサラリーマン・OLに向け、“ビジネスパーソンを応援し、日本の元気に繋げていこう”という統一テーマのもと、2局が異なる番組を同時間帯で放送します。

テーマは共通で「上司と部下(部下と上司) 仕事のホンネ」。

働く若手・部下、働くベテラン・管理職の、それぞれの本音を両局で拾い上げながら、番組内で取り上げます。

特番前半と後半では、ニッポン放送とTOKYO FMが乗り入れる同時放送ゾーンを作り、両局リスナーからの意見・メッセージを紹介しあいながら、ギャップや共通点をフォーカスします。

最終的には、“上司と部下それぞれに期待すること”を引き出しながら、すべてのビジネスパーソンにエールを送ることを目標とします。

TOKYO FM側のパーソナリティには、「部下代表」として、レコードメーカーに勤務経験もある、Chigusaさんを起用。ニッポン放送側のパーソナリティには、「上司代表」として脳科学者として有名な茂木健一郎さんを起用いたします。

また、2局コラボならではの試みとして、「部下に言いたいこと、部下に期待すること」はニッポン放送に、「上司に言いたいこと、上司に期待すること」はTOKYO FMにメールを送るよう、2局のメールアドレスをまとめて告知します。

つまり、ニッポン放送リスナーでも「上司に言いたいこと、上司に期待すること」はTOKYO FMに、またTOKYO FMリスナーでも「部下に言いたいこと、部下に期待すること」はニッポン放送にメールを送っていたという仕組みです。

さらに、twitterハッシュタグも共通の「#tfm1242」とし、今回の特番のために特設するホームページに、両局のリスナーからのツイートを表示。上司／部下のホンネを浮き彫りにしていきます。

なお、今回の2局の史上初の試みであり、ビジネスパーソンをターゲットにした特番であるという点にご賛同いただき、第一生命保険株式会社様の冠ご提供が決定しています。

●TOKYO FM

【特番タイトル】 『第一生命 presents TOKYO FM サンデースペシャル～部下と上司 仕事のホンネ』

【放送日時】 2011年3月13日(日) 19:00～19:55(生放送)

【パーソナリティ】 Chigusa

●ニッポン放送

【特番タイトル】 『第一生命 presents 茂木健一郎のサンデーズバリ! ラジオ～上司と部下 仕事のホンネ』

【放送日時】 2011年3月13日(日) 19:00～20:30(生放送)

【パーソナリティ】 茂木健一郎

※提供 第一生命保険株式会社

●パーソナリティ プロフィール



Chigusa (ちぐさ)

生後間もなくニューヨークへ移住。4歳で帰国し、幼稚園から高校まで東京のインターナショナル・スクールで学ぶ。日本語／英語のバイリンガル。言葉の表現を大切にすることを心がけている。

大学では、人文学科で美術史を学ぶ。また、大学時代からストリート・ダンスを始めると同時に、都内、横浜を中心に数多くのクラブ、ホールでのイベント(ライブ／ダンス)でMCを務める。

卒業後、(株)BMGファンハウス(現BMG JAPAN)洋楽制作本部A&Rマーケティング課の海外渉外業務、ラジオプロモーションを経て退職。フリーでMC活動をスタート。



茂木健一郎 (もぎ・けんいちろう)

脳科学者。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、東京工業大学大学院連携教授(脳科学、認知科学)。

1962年10月20日東京生まれ。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。

専門は脳科学、認知科学。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の間を研究するとともに、文芸評論、美術評論にも取り組んでいる。2005年、『脳と妄想』で、第四回小林秀雄賞を受賞。2009年、『今、ここからすべての場所へ』で第12回桑原武夫学芸賞を受賞。